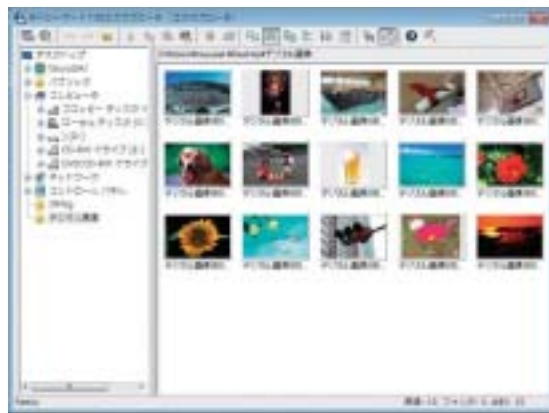
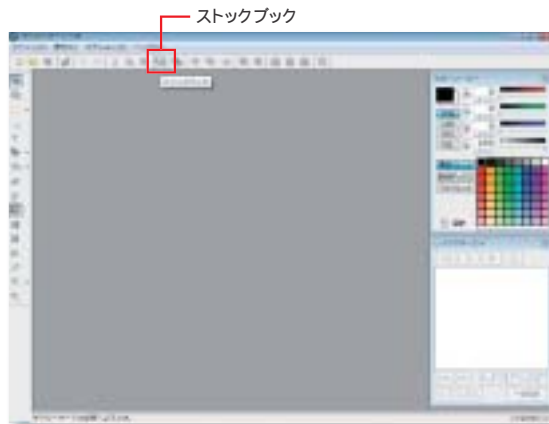


## 写真画像でグリーティングカードを作ろう

### 撮った写真の見方


- 1 デジカメとパソコンを繋いだら、DaisyArt7SEを起動します。  
デジカメとパソコンを繋いでからDaisyArt7SEを起動しないと接続されない可能性があります。
- 2 ツールバーの「ストックブック」をクリックし、「デジアート7SE エクスプローラ」を起動します。
- 3 デジアート7SE エクスプローラ ]のサブウィンドウは2分割されています。左側の画面を見ると現在使用しているパソコンのエクスプローラが表示されています。この中から、デジカメのフォルダを選びクリックします。クリックをすると右の画面にフォルダ内の画像が縮小表示されます。ここで写真を確認します。

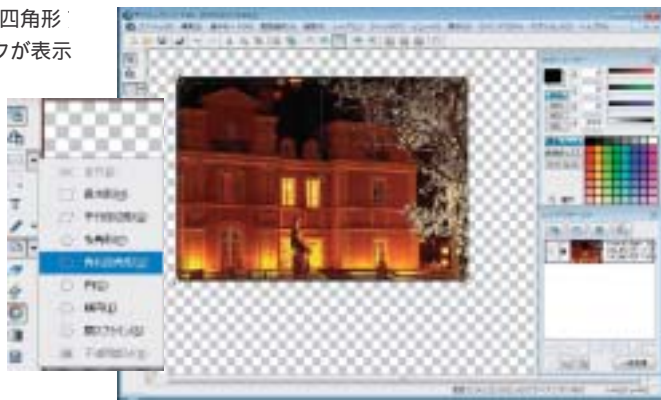


### デジカメ写真の取り込み方


- 1 デジアート7SE エクスプローラ から取り込む画像を1枚選択します。  
選択すると選んだ画像のファイル名が青く変化します。  
そのままドラッグをし、キャンバスの上まで移動しドラッグを離します(ドラッグ&ドロップ)。  
選択した画像がキャンバスに読み込まれます。

## 写真を切り抜こう

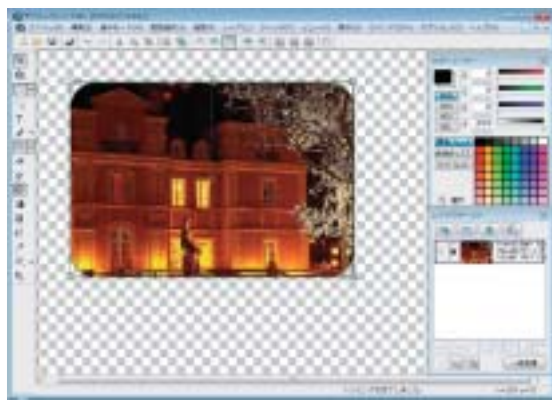
- 1 ツールバーの「範囲選択」の右の  をクリックし「角丸四角形」を選択します。選択をするとアイコンにチェックマークが表示されます。



- 2 カーソル(矢印)の右側に四角いマークが表示されます。ドラッグをするとグレーの線が表示されるので、切り出したい範囲を選択します。左ボタンを離すとグレーの線が緑の点線になります。

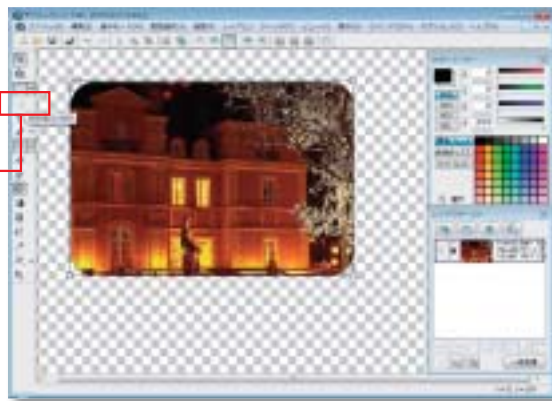
もし範囲選択を変えるときは、左右四隅の  にカーソル乗せドラッグをすると範囲を変えることができます。

範囲選択の形を変えるときは、ツールバーの「範囲選択の解除」をクリックすると緑の点線が消え新たに範囲選択ができます。



- 3 メニューバーの「レイヤ」から「レイヤをトリミング」を選択します。範囲選択の形に沿って切り抜きが実行されます。
- 4 切り抜きが終わったらツールバーの「範囲選択の解除」をクリックして、範囲選択(緑の点線)を解除します。

範囲選択の解除



## 写真に文字を入れよう ～応用編～

- ① カラーメーカーで文字の色を選択します。

【カラーメーカー】 標準パレットを使用します。

### 標準パレット

色が全部で64種類用意してあります。この中から使用する色をクリックして選択します。

絵具で絵を描くときにパレットから色を選ぶような感覚で使用できます。

マウスのカーソルを色の上に合わせてクリックします。左上の四角い枠に、選択した色が反映されます。

キャンバス上にカーソルを移動し、左ドラッグをすると絵が描けます。描いた絵を消すときは右ドラッグをしながら、描画した部分をなぞるようにすると消すことができます。

他の3種類のパレットの説明をします。

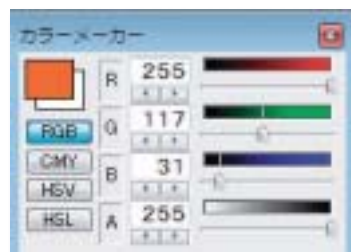
### カラーメーカー

右側では[R 赤 ]G[ 緑 ]B[ 青 ]の組み合わせから色を作り出しています。スクロールバーにマウスのカーソルを合わせてドラッグをすると光の強さ(色の濃さ)を調節できます。そして、RGBの3色を混ぜて作った色が左の四角の色に反映されます。

C[ シアン ]M[ マゼンタ ]Y[ イエロー ]の中から選択する場合はサブウィンドウの[ CMY ]を選択します。

スライダーはRGBの光の三原色とCMYの色の三原色を用いて色を作っています。

[ A ]は透明度( )を示しています。値を低くすると透明になります。



### 色相ボックス

基本操作は【標準パレット】と同じですが、暗い色や黒の作り方に特徴があります。暗い色を作るときはサブウィンドウ右にあるスライダーを下にスライドします。上にスライドすると明るい色になり、下にスライドすると、暗い色になり一番下までスライドすると黒になります。

部屋の明るさを調節する電気のつまみのようなイメージです。

## マイパレット

オリジナルの色を登録することができ、使用した色の履歴を自動で8個まで保存することができます。

それぞれのパレットから登録したい色を選択します。

### [ 選択方法

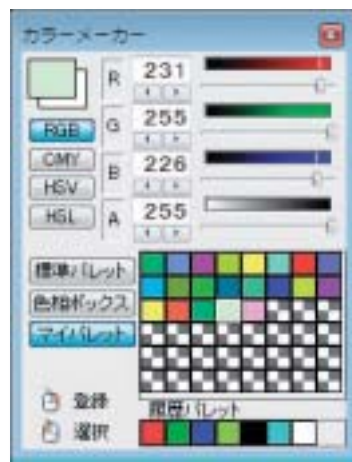
マウスのカーソルを登録したい色の上に合わせ左クリックをします。

マイパレットをクリックします。

マウスのカーソルを登録したい場所に合わせ、右クリックをします。

選択した色が登録されます。

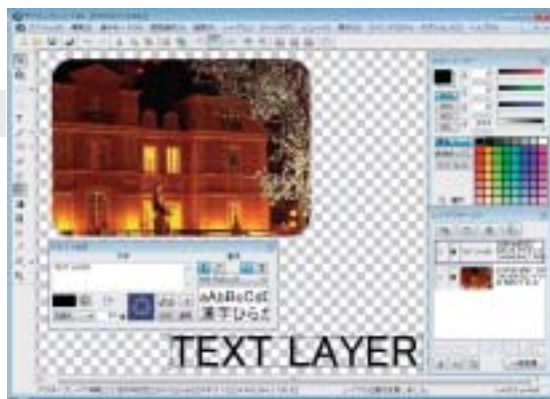
使用した色の履歴はマイパレットの下に、使用した順に保存され古い順に削除されます。



- 2 ツールバーの「テキストレイヤを作成」をクリックします。テキスト設定のサブウィンドウが表示されます。テキスト設定のサブウィンドウの左下の四角い枠が①で設定した色になっています。この枠内の色が現在指定している文字の色になります。さらにキャンパス上に設定した色で(ここでは黒です)「TEXT LAYER」と表示されます。

色を変更する場合はカラーメーカーから使用したい色を選択すると、テキスト設定のサブウィンドウにも反映されます。

ここで赤に変更します。



- 3 文字入力枠に文字を入力します。

フォントはプルダウンメニューから選択します。@マークの付いているフォントは文字を縦にします。

テキストレイヤの角度の変更方法は2種類あります。

サブウィンドウのAにマウスのカーソルを合わせドラッグをします。

Bに値を入力して角度を変更します。

ここでは、文字入力枠に「X'mas Party 招待状」と入力します。

全ての設定が完了しましたら[適用]をクリックします。

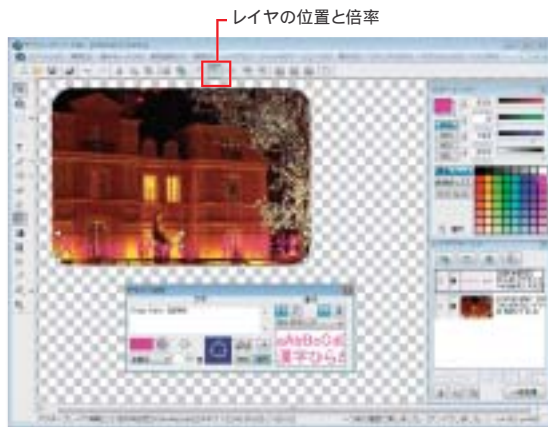


B A

- ④ 作成した文字がキャンバス上に表示されるので、作成した作品の上に重ねます。

ツールバーの「レイヤの位置と倍率」をクリックしてからドラッグをします。大きさを変える場合は左右四隅の「」をドラッグして変えます。

テキストレイヤを追加する場合は「テキスト設定」サブウィンドウの「作成」をクリックし①～③を操作を繰り返します。



## 文字に影をつけよう

- ① レイヤマネージャから作成したテキストレイヤを選択します。  
 選択をすると選ばれたレイヤは青い枠で囲われます。

「アクティブレイヤの複製」をクリックしテキストレイヤを複製します。



- ② レイヤマネージャからの複製元の方のテキストレイヤをクリックして選択します。  
 ここでは2番のレイヤになります。



- ③ カラーメーカーで影の色を選択します。ここでは黄色を選択します。

[テキスト設定] のサブウィンドウの[適用] ボタンをクリックします。キャンバス上では変化はありませんが、もう一方のテキストレイヤをドラッグし移動をすると、今作成したテキストレイヤが下に見えます。

レイヤマネージャから移動するレイヤを選択します。選択されたレイヤは青い枠で囲われます。



- ④ 2つのテキストレイヤを右図のように少しずらすと文字に影がつきます。

